

# 平成23年度 観光統計実態調査

【概要版】



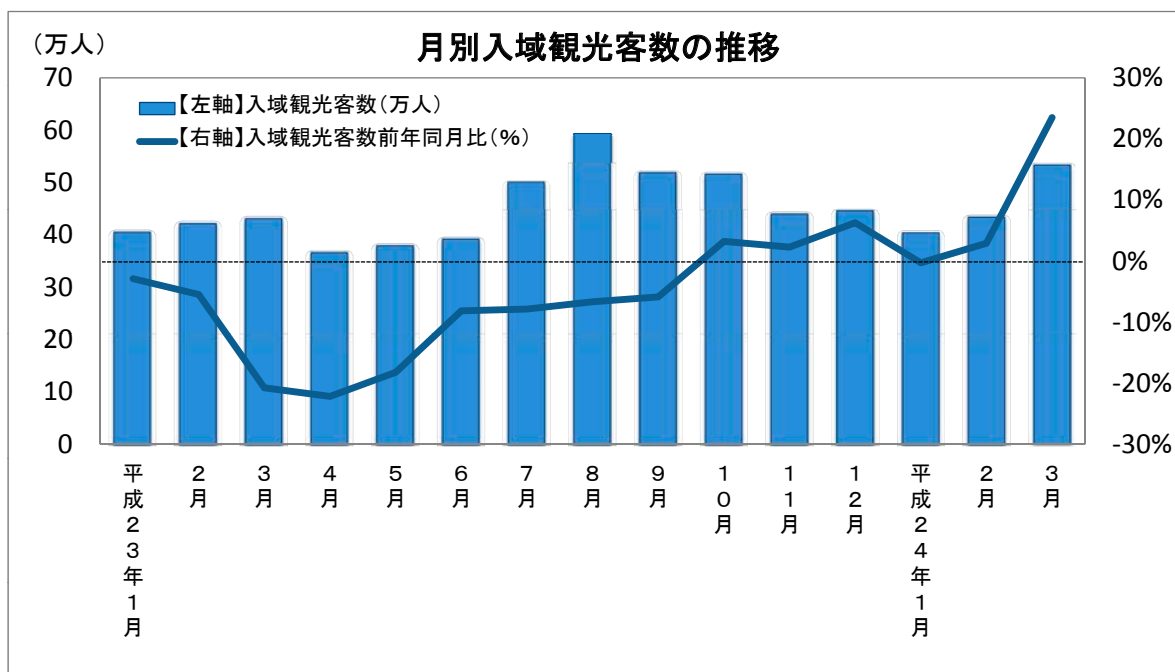
写真提供：（財）沖縄観光コンベンションビューロー

平成24年3月  
沖縄県文化観光スポーツ部

# 観光客の実態

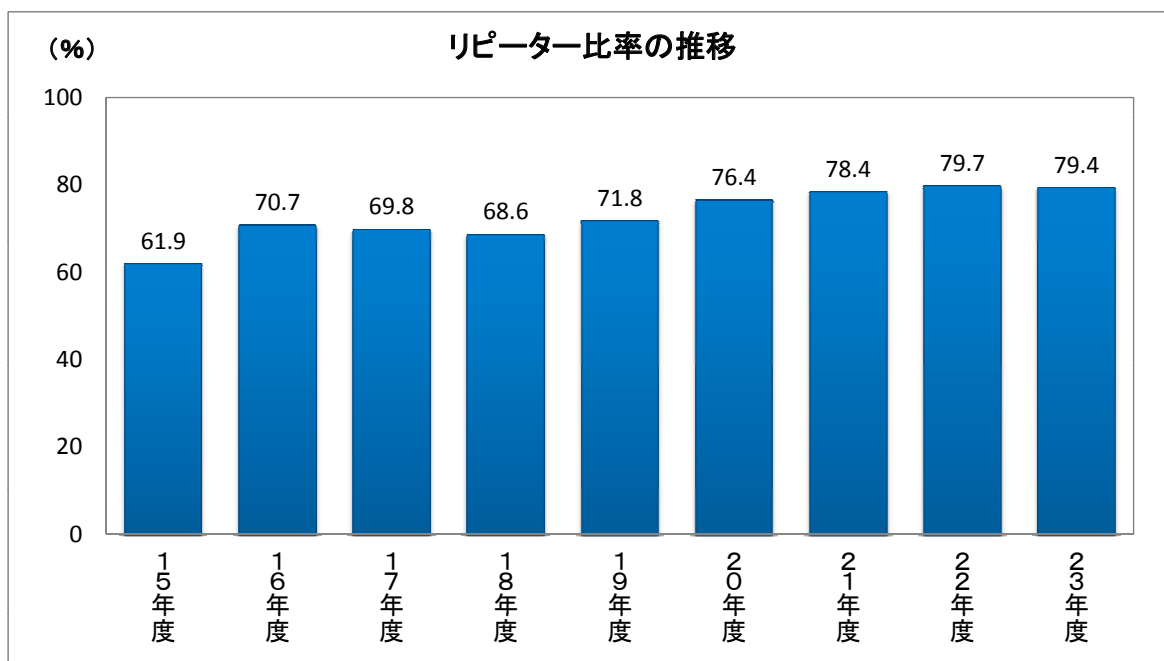
## 震災の影響で入域観光客数は昨年度を下回る

- 震災の影響で3～5月が大幅なマイナスも、10月以降は概ねプラスに
- 入域観光客数は対前年度比3.1%減の552万8,000人



## リピーター比率は79.4%、前年度より微減

- 来訪回数が「2回目以上」のリピーター比率は79.4%
- 平成19年度以降、リピーター比率は増加が続いていたが平成23年度は微減



\*外国人客は含んでいない

## 震災の影響により夏期に沖縄を初めて訪れる人の比率が増加

- 春期は震災の影響から沖縄を初めて訪れる観光客の比率が減少
- 一転して、夏期は沖縄を初めて訪れる観光客の比率が増加
- 夏期は泊数の長期化、帰省客の比率増など、例年とは異なる傾向が見られた

リピーター比率(四半期別、単位：%)

	平成22年度	平成23年度	前年同期比
年度	79.7	79.4	▲0.4
春期	81.0	82.0	1.0
<b>夏期</b>	<b>82.3</b>	<b>78.6</b>	<b>▲3.7</b>
秋期	77.9	77.9	0.0
冬期	76.9	79.6	2.7

平均泊数(四半期別、単位：泊)

	平成22年度	平成23年度	前年同期比
年度	2.78	2.83	0.05
春期	2.79	2.78	▲0.01
<b>夏期</b>	<b>3.11</b>	<b>3.51</b>	<b>0.39</b>
秋期	2.61	2.31	▲0.30
冬期	2.53	2.63	0.10

\*外国人客は含んでいない

## 観光消費額の推計

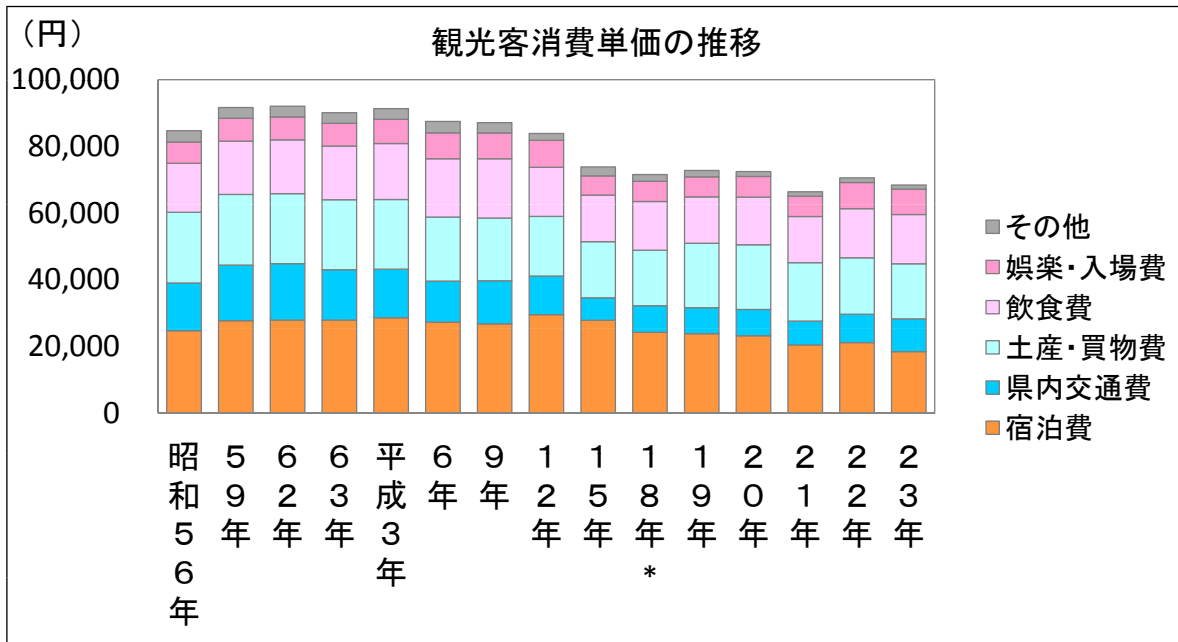
観光客全体単価は68,427円、前年度比3.0ポイント減

- 22年度の猛暑からの反動減や悪天候の影響で秋期の娯楽・入場費が大幅減
- 「ショッピング」比率が減少し、土産・買物費はマイナス傾向で推移

	観光客消費単価						
	単価(円)	宿泊費	県内 交通費	土産・ 買物費	飲食費	娯楽・ 入場費	
23年度	単価(円)	68,427	18,444	9,816	16,526	14,791	7,602
	前年度比	-3.0%	-12.8%	15.5%	-2.3%	0.4%	-2.9%
春期	単価(円)	70,937	18,989	10,483	17,315	14,981	8,104
	前年度比	-2.0%	-12.2%	19.4%	-1.7%	1.3%	-1.0%
夏期	単価(円)	79,352	22,775	11,634	15,706	17,615	10,338
	前年度比	2.4%	-1.8%	28.1%	-3.8%	0.0%	8.0%
秋期	単価(円)	60,666	14,871	8,524	17,055	13,001	5,763
	前年度比	-9.1%	-23.9%	-1.6%	1.1%	1.2%	-23.0%
冬期	単価(円)	61,446	16,557	8,449	16,295	13,150	5,851
	前年度比	-2.7%	-15.6%	16.8%	-4.3%	3.0%	7.4%

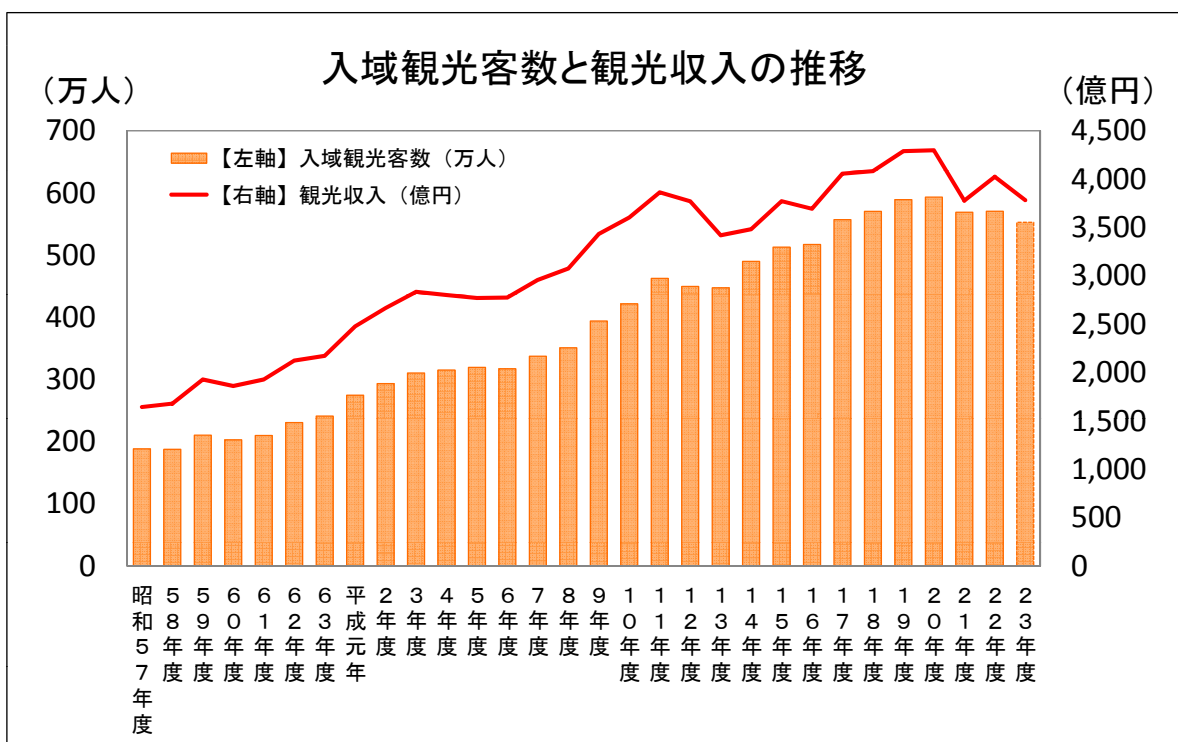
## 観光客消費単価は21年度に続く低い水準で推移

- 「リゾートホテル」への宿泊比率が減少し、宿泊費が減少
- 夏期に「海水浴・マリンレジャー」客のレンタカー利用率が高く、県内交通費が増加



## 入域観光客数の減少と消費単価の低下で観光収入は減少

- 観光収入は前年を下回る3,783億円



## 活動別で最も消費単価が高いのは「スパ・エステ」

- リゾートホテルの利用率が多い「スパ・エステ」は宿泊費、飲食費等が高い傾向
- 「海水浴・マリンレジャー」、「ダイビング」は離島への訪問率が高いことから県内交通費も全体に比べ高い
- 「ゴルフ」ではタクシー利用率が多いこと等が影響し、県内交通費が全体より高め

県外客一人当たりの費目別消費単価(活動別、単位:円)

	総消費 単価	宿泊費	県内 交通費	土産・ 買物費	飲食費	娯楽・ 入場費
観光地めぐり	71,381	18,724	10,212	18,576	14,882	7,822
保養・休養	81,096	22,287	11,370	18,650	19,152	8,241
海水浴・マリンレジャー	85,056	<b>24,186</b>	<b>12,284</b>	16,395	19,674	11,320
ダイビング	<b>99,298</b>	<b>23,976</b>	<b>11,567</b>	14,060	16,391	<b>30,878</b>
ゴルフ	86,951	20,095	11,355	13,714	19,876	<b>18,918</b>
スパ・エステ	<b>100,374</b>	<b>23,538</b>	11,882	<b>26,400</b>	<b>22,560</b>	14,145
ショッピング	74,908	17,908	9,582	<b>22,720</b>	15,673	7,959
沖縄料理を楽しむ	74,767	19,415	10,435	18,550	16,937	8,183

\*外国人客は含んでいない

## 年代・時期別で最も消費単価が高いのは夏期の40代

- 年代別で消費単価が高いのは夏期にシェアが高い30・40代
- 30・40代は夏期の娯楽・入場費が高いことから夏期の消費単価が突出
- 夏期以外はおおむね60代の消費単価が高い

県外客一人当たりの総消費単価(年代別、単位:円)

	23年度	春期	夏期	秋期	冬期
10・20代	66,793	70,072	72,345	61,198	56,323
30代	<b>72,442</b>	74,563	<b>82,907</b>	61,224	59,777
40代	<b>72,068</b>	75,109	<b>84,504</b>	56,350	59,014
50代	66,198	71,345	79,135	58,166	59,875
60代	68,574	<b>76,865</b>	79,448	<b>66,491</b>	<b>63,902</b>
70代以上	64,609	56,604	69,125	63,501	<b>66,937</b>

\*外国人客は含んでいない



## 60代以上は土産・買物費、30代以下は娯楽・入場費が高い傾向

- 娯楽・入場費は下の年代になるにつれて高くなる傾向
- 一方、土産・買物費は年代が上がるにつれ上昇、60代が最も高くなっている

県外客一人当たりの費目別消費単価(年代別、単位:円)

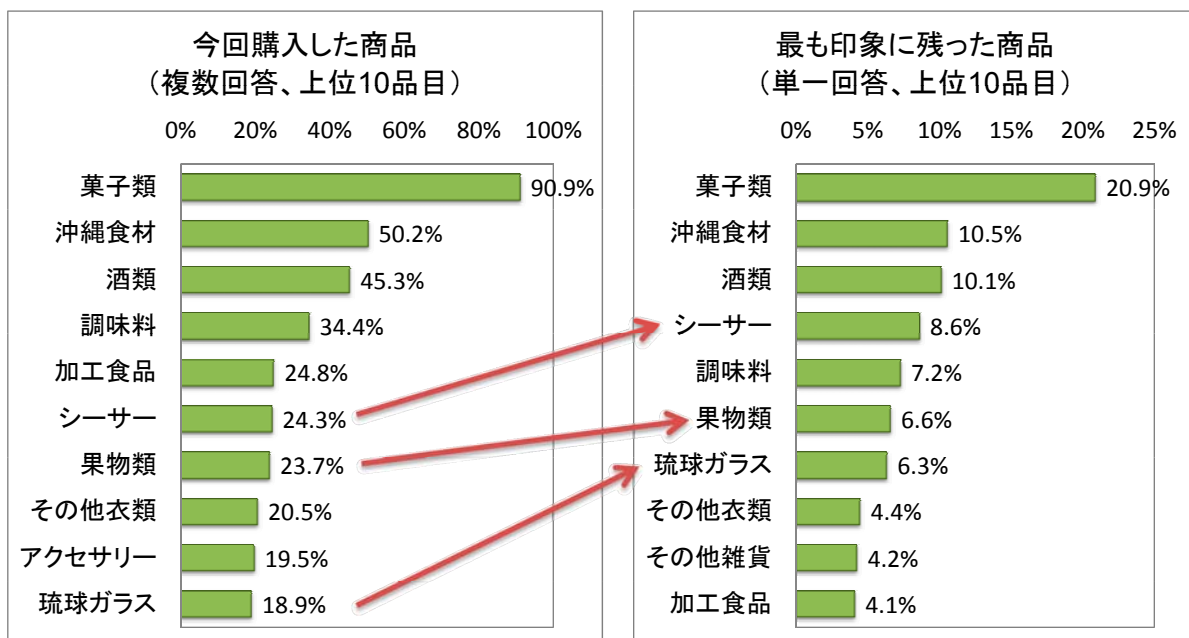
	総消費 単価	宿泊費	県内 交通費	土産・ 買物費	飲食費	娯楽・ 入場費
10・20代	66,793	19,360	9,940	14,413	12,847	<b>9,687</b>
30代	<b>72,442</b>	18,791	<b>10,649</b>	15,918	<b>16,417</b>	<b>9,466</b>
40代	<b>72,068</b>	<b>20,292</b>	<b>10,360</b>	15,212	<b>16,233</b>	8,875
50代	66,198	17,657	9,695	16,802	14,613	6,345
60代	68,574	17,645	10,013	<b>18,449</b>	14,620	6,239
70代以上	64,609	18,196	8,794	<b>17,013</b>	12,098	5,341

\*外国人客は含んでいない

## 土産品の購入に関する分析

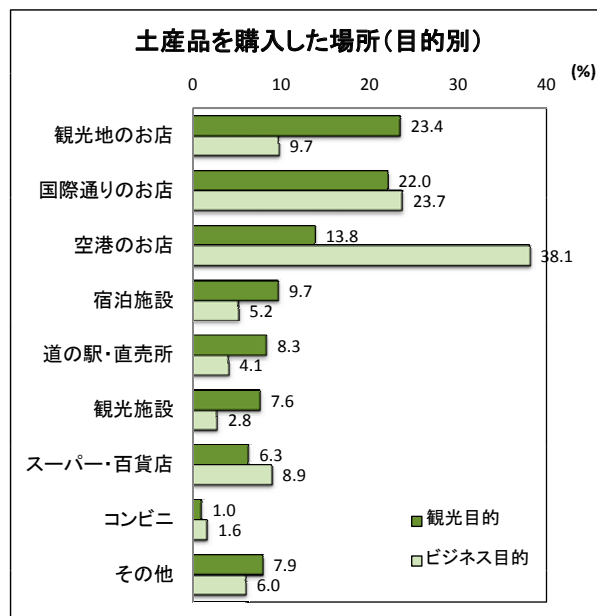
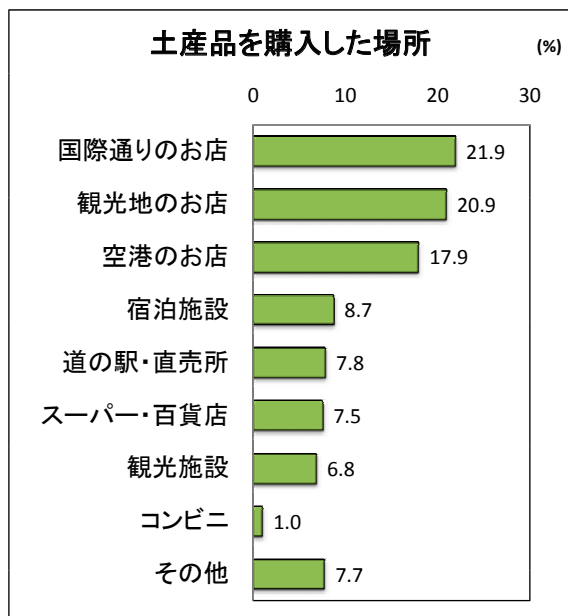
### 今回購入した商品、印象に残った商品共に食品が上位を占める

- 全体の9割超が「菓子類」を購入、上位5品目を食品が占める
- 最も印象に残った商品では「シーサー」「果物類」「琉球ガラス」等が順位を上げる



## 購入する場所が多いのは「国際通りのお店」と「観光地のお店」

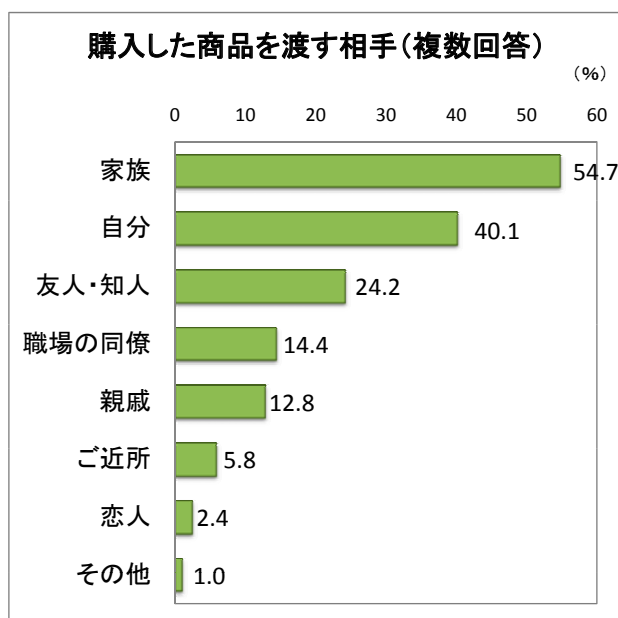
- “ビジネス目的”は「空港のお店」で購入する比率が突出して高い
- “菓子類”や“沖縄食材”は「空港のお店」、「酒類」や“加工食品”は「スーパー・百貨店」、「果物類」は「道の駅・直売所」で購入する比率が多い



\*「観光目的」とは「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」のいずれも行っていない来訪客、「ビジネス目的」とは「会議・研修」または「仕事」を行った来訪客を指す

## 土産品をあげる相手が多いのは「家族」と「自分」

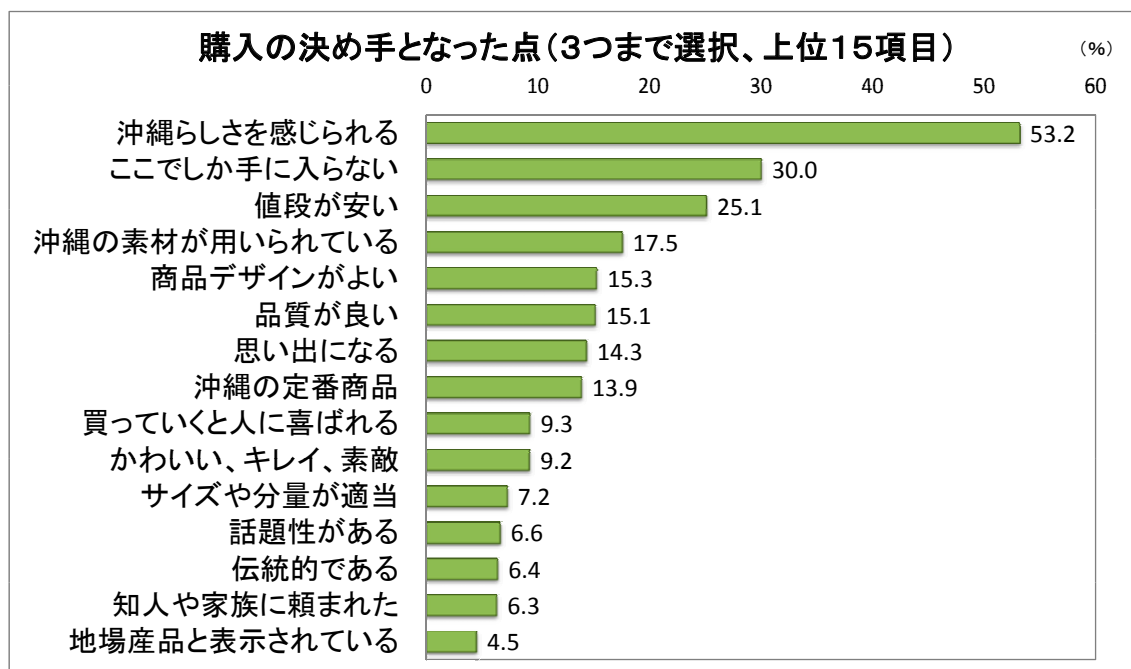
- 「自分」のために購入する比率は30代以下で特に多い
- 60代以上では「親戚」「ご近所」比率が増加
- 「自分」のために購入した商品の一つあたりの金額が最も高い



誰のために購入したか(複数回答)	購入した商品の一つあたりの価格(平均、単位:円)
家族	2,504
自分	4,332
友人・知人	1,523
職場の同僚	1,259
親戚	1,660
ご近所	1,336
恋人	2,584
その他	4,239

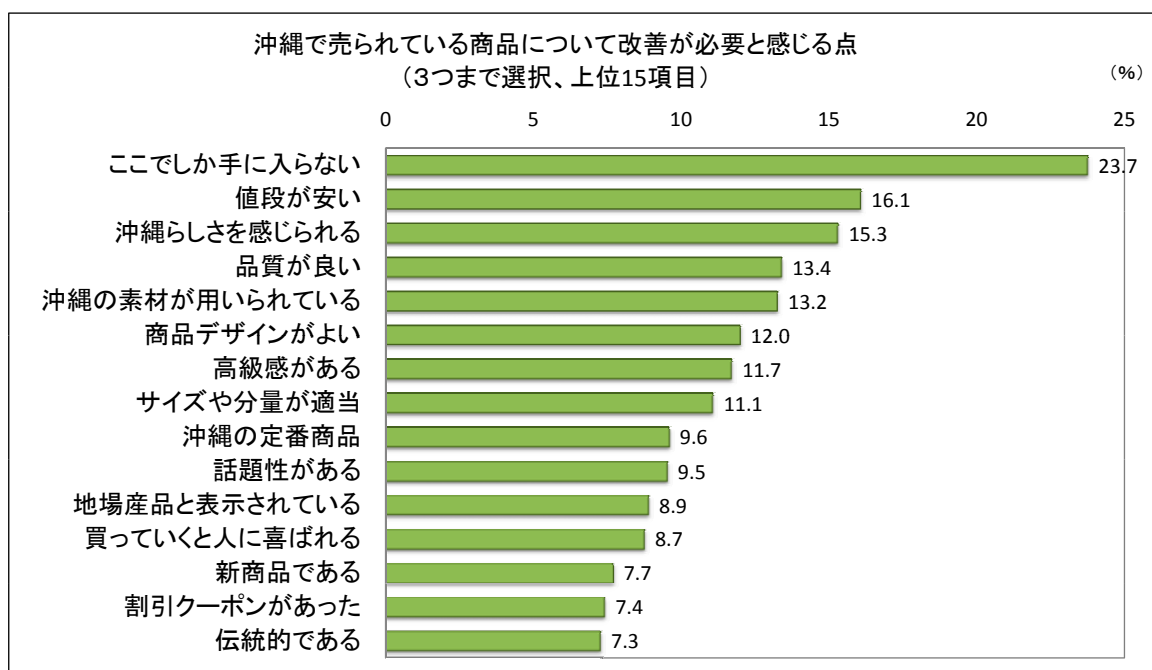
## 購入の決め手となった点

- 上位3項目は全ての年代で同じ順位
- 40代以下は「商品デザインが良い」や「かわいい、キレイ、素敵」を重視、50代以上では「沖縄の素材が用いられている」「定番商品」が多い



## 沖縄で売られている商品について改善が必要と感じる点

- 70代では「沖縄らしさ」が最も多く、その他の年代では「ここでしか手に入らない」が最も多い
- 40代以下では商品デザインの改善を求める意見が目立つ

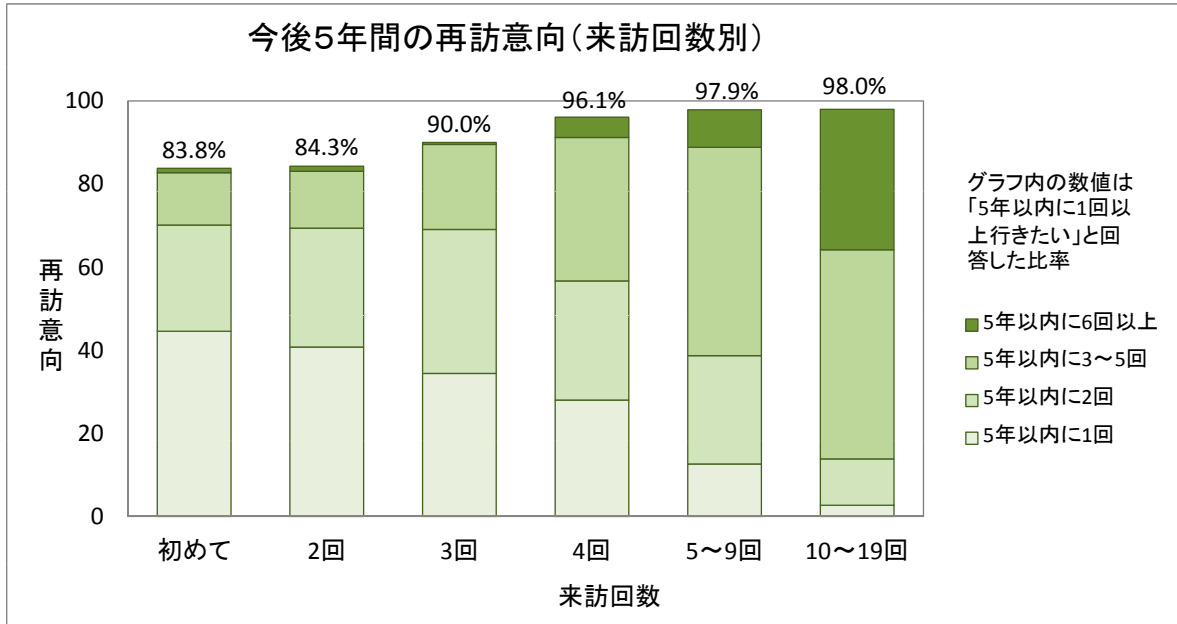




# リピーターの拡大に向けた分析

## 来訪回数3回以下と4回以上で再訪意向に違い

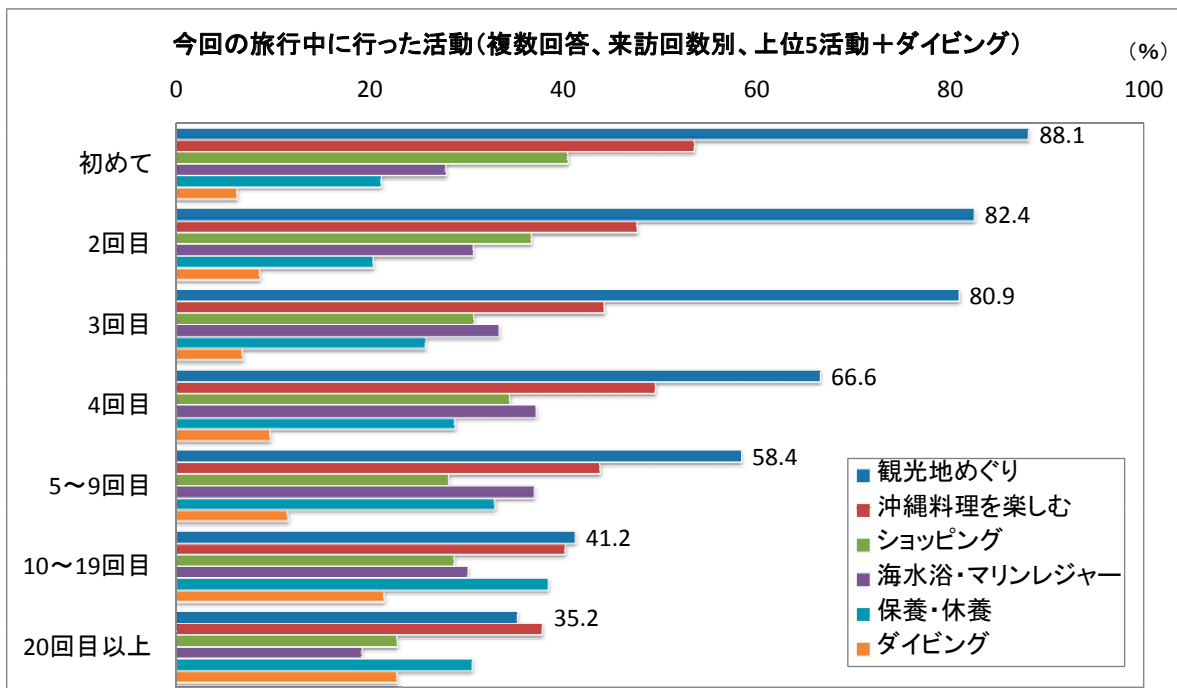
- 来訪回数4回以上のリピーターの今後5年以内の再訪意向はほぼ100%
- 来訪回数3回以下の4割前後が再訪意向は「5年以内に1回」と回答



\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない

## 来訪回数3回以下で特に多い「観光地めぐり」

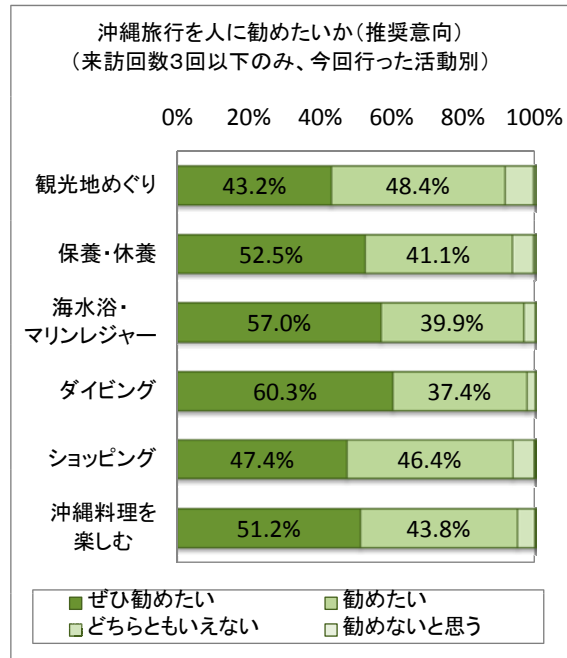
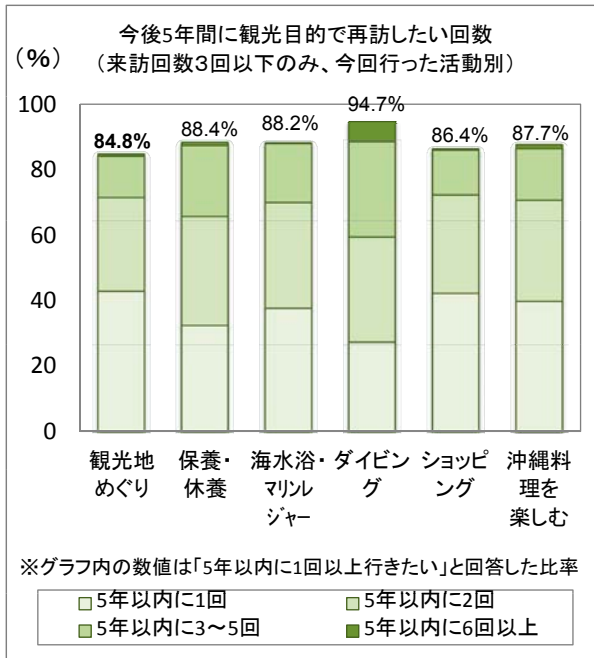
- 来訪回数3回以下の8割以上が「観光地めぐり」を実施
- 来訪回数が増えるほど「保養・休養」「ダイビング」比率が増加



\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない

## 「観光地めぐり」を行った人の再訪意向、推奨意向はともに低め

- 「観光地めぐり」は今後5年以内の再訪意向が低く、再訪意向回数も少ない
- 「観光地めぐり」は「ぜひ勧めたい」比率も低い傾向
- 「ダイビング」は今後5年以内の再訪意向も「ぜひ勧めたい」比率も高い傾向



\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない

## 「観光地めぐり」は短い日程で多くの観光地を巡る駆け足旅行

- 「観光地めぐり」「ショッピング」「沖縄料理を楽しむ」で平均訪問地域数が多い
- 「観光地めぐり」のうち、「団体旅行」や「パッケージ旅行」での来訪客は1泊あたりの平均訪問地域数が多い

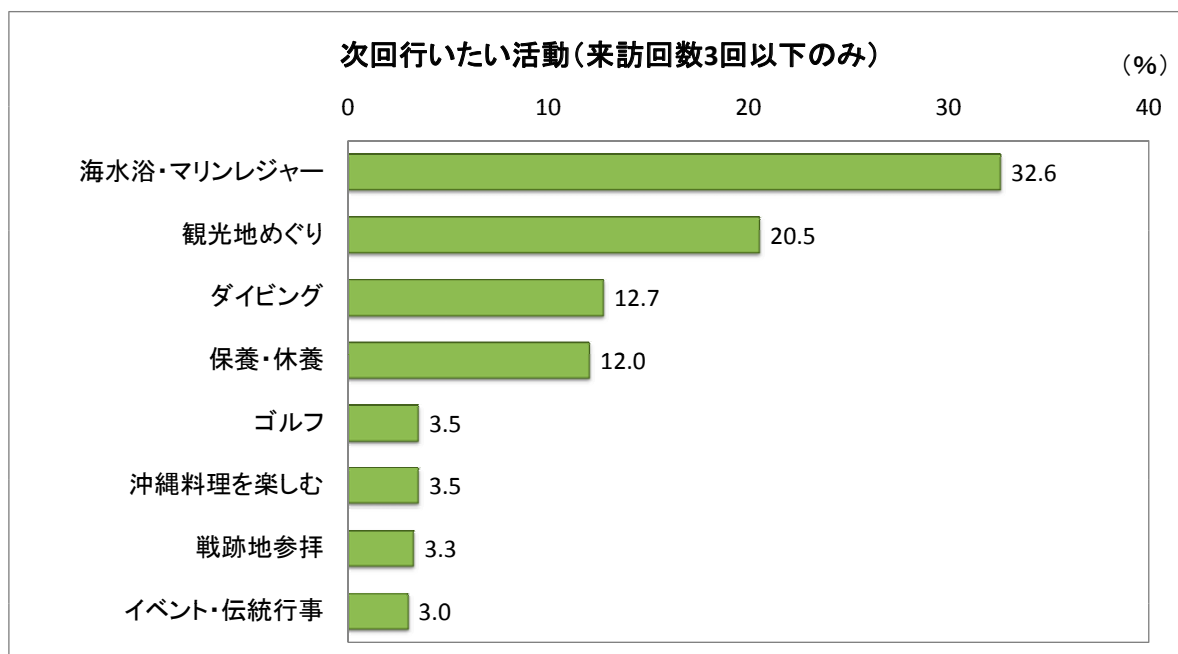
表. 今回の旅行で訪れた地域(来訪回数3回以下のみ、今回行った活動別)

訪問地域(複数回答)	今回行った活動(複数回答)					
	観光地めぐり	保養・休養	海水浴・マリレジャー	ダイビング	ショッピング	沖縄料理を楽しむ
やんばる(最北部)	8.1%	7.8%	5.1%	6.8%	7.5%	8.0%
本部半島	64.0%	55.4%	56.9%	45.5%	66.3%	63.1%
北部西海岸	48.7%	41.1%	49.0%	36.4%	52.4%	48.2%
北部東海岸	8.8%	6.8%	6.9%	3.8%	9.4%	8.8%
中部西海岸	37.7%	36.6%	36.7%	34.1%	41.0%	38.8%
中部東海岸	17.6%	12.0%	11.2%	8.3%	18.7%	17.7%
那覇市	77.0%	66.2%	66.0%	70.5%	84.4%	78.8%
南部	45.9%	34.3%	32.0%	33.3%	45.7%	44.6%
久米島	0.7%	1.3%	1.5%	3.0%	0.4%	0.6%
久米島以外の本島周辺離島	1.4%	1.5%	5.1%	11.4%	1.8%	2.3%
宮古島および周辺離島	3.6%	5.5%	5.5%	6.8%	2.4%	3.9%
石垣島および周辺離島	15.5%	19.8%	17.9%	18.9%	12.6%	14.6%
<b>平均訪問地域数</b>	<b>3.29</b>	2.88	2.94	2.79	<b>3.43</b>	<b>3.29</b>
<b>平均泊数</b>	<b>2.61</b>	2.98	3.12	3.27	<b>2.59</b>	2.72
<b>1泊あたり平均訪問地域数</b>	<b>1.26</b>	0.97	0.94	0.85	<b>1.32</b>	1.21

\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない

## 次回行いたい活動のトップは「海水浴・マリレジャー」

- 次回行いたい活動の1位は「海水浴・マリレジャー」
- 「海水浴・マリレジャー」「ダイビング」を選んだ人は再訪意向も高い傾向



\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない

## “海の実感／体験が次回への旅行意欲を喚起

- 「観光地めぐり」では『もっと行ってみたい』、「海水浴・マリレジャー」や「ダイビング」では『海がきれいだから』が突出
- 『天候や台風で今回できなかった』という意見も多く見られた

表. 次回行いたい活動とその理由(来訪回数3回以下のみ、自由回答をカテゴリ化、上位5位まで)

次回「観光地めぐり」を行いたい理由			次回「保養・休養」を行いたい理由		
1位	もっと行ってみたい	49.8%	1位	次にチャレンジしてみたい	21.9%
2位	今回十分できなかった	16.9%	2位	海がきれいだから	18.2%
3位	好きだから	8.3%	3位	疲れを癒すため	14.4%
4位	やって楽しかった	5.2%	4位	天候や台風で今回できなかった	11.8%
5位	天候や台風で今回できなかった	4.9%	5位	もっとやってみたい	9.6%

次回「海水浴・マリレジャー」を行いたい理由			次回「ダイビング」を行いたい理由		
1位	海がきれいだから	52.5%	1位	海がきれいだから	48.3%
2位	天候や台風で今回できなかった	18.1%	2位	やって楽しかった	21.8%
3位	やって楽しかった	12.0%	3位	次にチャレンジしてみたい	12.8%
4位	季節が合わなかった	8.9%	4位	天候や台風で今回できなかった	8.5%
5位	今回十分にできなかった	8.5%	5位	今回に十分できなかった	8.1%

\*「会議・研修」「仕事」「帰省・親戚等の訪問」を行った人を除く  
\*外国人客は含んでいない



写真提供：(財)沖縄観光コンベンションビューロー

### 平成23年度観光統計実態調査(空港アンケート調査)

<b>調査項目</b>	●旅行者の属性(居住地、性年代、旅行回数等) ●旅行内容(旅行目的、同行者、宿泊日数、消費額等) ●旅行中に購入した土産品 (購入した土産品の種類、最も印象に残った土産品とその購入場所、購入相手、購入金額、購入の決め手、沖縄で売られていたら購入したい土産品等)
<b>調査時期</b>	春期 平成23年6月25日(金)、27日(日) 夏期 平成23年8月19日(金)、21日(日) 秋期 平成23年11月19日(金)、21日(日) 冬期 平成24年2月3日(金)、5日(日)
<b>調査対象</b>	航空機を利用して県外へ出域する日本人客を対象に調査票を配布。 配付数は、各便の座席数に応じて比例配分している。 修学旅行生は調査対象者から除いている。
<b>調査方法</b>	調査員が搭乗待ちの観光客にA3両面1枚の調査票を 返信用封筒とともに手渡し、郵送(料金受取人払)にて回収した。
<b>配布数</b>	12,000票(各回 3,000票)
<b>回収数</b>	4,186票(第1回 1,051票、第2回 1,020票、第3回 1,091票、第4回1,024票)
<b>回収率</b>	34.9%

### 沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL:098-866-2763 FAX:098-866-2767

URL: <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/contview.jsp?cateid=233&id=14739&page=1>

※この冊子は、調査結果のうち特徴的な部分を抜粋して作成しています。  
より詳しい内容につきましては報告書をご覧ください。報告書は上記URLよりダウンロードできます。